

出雲市のため池にすむ 生きものたち2



出雲市

平成25年3月



ちゅういしましょう！

- ・水辺へ一人で行くのはきけんです。大人といっしょに行きましょう。
- ・ブラックバスなどの特定外来生物(とくていがいらいせいぶつ)をほかの場所へもっていき、放すことは法律で禁止されています。
- ・ペットのカメやザリガニ、金魚などの生きものを池に放すのはやめましょう。

もくじ

ヒシ	4
ジュンサイ	5
ヒツジグサ	6
ガガブタ	7
エビノコバン	8
スジエビ	9
アメリカザリガニ	10
アメンボ	11
オオアメンボ	12
クロイトンボ	13
キイトンボ	14
コシアキトンボ	15
コバントビケラ	16
シマゲンゴロウ	17
コシマゲンゴロウ	18
コガタノゲンゴロウ	19
ミズスマシ	20
オオミズスマシ	21
スジヒラタガムシ	22
ヒシチビゾウムシ	23
メダカ	24
ミシシippアカミミガメ	25
ニホンアカガエル	26
ヤマアカガエル	27
モリアオガエル	28
シュレーゲルアオガエル	29
ニホンアマガエル	30
シマヘビ	31

ヒシ



- 分類(ぶんるい):フトモモ目ヒシ科
- 学名(がくめい):*Trapa japonica*
- 大きさ:葉の幅は2-8cmほど。
- 特徴(とくちょう):葉は菱形(ひしがた)で、水面に浮かびます。葉の柄(え)がふくらんでいて、浮きになっています。白く小さな花がさきます。実には大きくなトゲがあります。
- 生育場所(せいいくばしょ):ため池や流れのない水路に生えます。池の水面にびっしりと生えていることがあります。少しよごれた水の方がよく育ちます。
- 分布(ぶんぷ):日本や周辺の国に広く分布しています。出雲市でもため池や水路でふつうにみられます。

ジュンサイ



- 分類(ぶんるい):スイレン目ハゴロモ科
- 学名(がくめい):*Brasenia schreberi*
- 大きさ:葉の長さは5-10cmほど。
- 特徴(とくちょう):葉は、小判(こばん)のような楕円形(だえんけい)をしていて、水面に浮かびます。若い葉はゼリーのようなものにつつまれていて、食用にもなります。
- 生育場所(せいいくばしょ):主にため池に生えています。ヒシよりも水がきれいな池に生えています。
- 分布(ぶんぷ):日本に広く分布していますが、少なくなりつつある水草の一つです。出雲市では、いくつかのため池でみつかります。

ヒツジグサ



- 分類(ぶんるい):スイレン目スイレン科
- 学名(がくめい):*Nymphaea tetragona*
- 大きさ:葉の大きさは5-30cmほど。
- 特徴(とくちょう):葉は丸く、大きな切れ込みがあります。花は、花びらが10枚ほどで、白くて大きく、昼間に花が開きます。種名のヒツジは、昔の時間を表す「羊の刻」(ひつじのこく:午後2時ごろ)に花がさくからだと言われています。
- 生育場所(せいいくばしょ):主にため池に生えています。ジュンサイのように水のきれいな場所に多く生えます。
- 分布(ぶんぷ):日本や周辺の国々に広く分布しています。出雲市では、いくつかのため池で見つかっています。

ガガブタ



- 分類(ぶんるい):キク目ミツガシワ科
- 学名(がくめい):*Nymphoides indica*
- 大きさ:葉の大きさは10-15cmほど。
- 特徴(とくちょう):水面に浮いている葉は丸いハート型をしています。花は白く、花びらに毛がたくさん生えています。
- 生育場所(せいいくばしょ):主に池や流れのない水路に生えています。
- 分布(ぶんぷ):日本だけでなく世界的にも広く分布していますが、日本では少なくなりつつある水草の一つです。出雲市でも限られた場所にしか生えていません。

エビノコバン



- 分類(ぶんるい):ワラジムシ目ニセウオノ工科
- 学名(がくめい): *Tachea chinensis*
- 大きさ:体の長さは5-8mmほど。
- 特徴(とくちょう):ワラジムシのように体にたくさんの節があります。スジエビなど真水にすむエビに寄生(きせい)します。エビの胸にしがみつきます。エビから外れると泳ぎます。
- 生息場所(せいそくばしょ):主にため池にすんでいます。スジエビやヌマエビの多い場所にいますが、エビがいてもみつからないことが多いです。
- 分布(ぶんぷ):日本に広くすんでいます。あまりくわしく調べられていないようです。

スジエビ



- 分類(ぶんるい):エビ目テナガエビ科
- 学名(がくめい): *Palaemon paucidens*
- 大きさ:体の長さは2-5cmほど。
- 特徴(とくちょう):体は透明で、赤茶色のシマ模様(もよう)があります。一番前の足には小さなハサミがあります。
- 生息場所(せいそくばしょ):主に水路や川、ため池などにすんでいます。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。出雲市では、ため池にもすんでいます。水路や川で見つかることも多いです。

がいらいしゅ
外来種

アメリカザリガニ



- 分類(ぶんるい):エビ目アメリカザリガニ科
- 学名(がくめい):*Procambarus clarkii*
- 大きさ:体の長さは2-15cmほど。
- 特徴(とくちょう):小さな時は茶色で小さなハサミがあります。大きくなると、体が赤くなり、大きなハサミをもつようになります。
- 生息場所(せいそくばしょ):主に田んぼや水路、池などにすみます。かなりよごれた水にもすむことができます。
- 分布(ぶんぷ):もともと日本にはいなかった外来種です。出雲市でも平野部を中心に広くすんでいます。もともいた生きものを食べたり、すみかをうばったりします。つかまえたザリガニを外に放すのはやめましょう。

アメンボ(ナミアメンボ)



- 分類(ぶんるい):カメムシ目アメンボ科
- 学名(がくめい):*Aquarius paludum*
- 大きさ:体の長さは10-15mmほど。
- 特徴(とくちょう):体が細長く、中足と後ろ足がとても長いです。背中黒く、腹側は銀色です。つかまえると甘いにおいがします。また、空を飛ぶこともできます。よくにているヒメアメンボは、アメンボよりも小さいです。
- 生息場所(せいそくばしょ):主に池や水路、川などにすみます。水面が水草におおわれているような場所にはあまりいません。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。出雲市でもふつうにみられるアメンボです。

オオアメンボ



- 分類(ぶんるい):カメムシ目アメンボ科
- 学名(がくめい):*Aquarius elongatus*
- 大きさ:体の長さは2-3cmほど。
- 特徴(とくちょう):ふつうのアメンボと比べて、かなり大きなアメンボです。背中が黒く、腹側は銀色です。中足と後ろ足がとても長いです。
- 生息場所(せいそくばしょ):主に池にすみます。水面に水草が少ない池を好みます。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。出雲市でもため池で見られますが、多くはありません。

クロイトトンボ



- 分類(ぶんるい):トンボ目イトトンボ科
- 学名(がくめい):*Cercion calamorum*
- 大きさ:体の長さは3cmほど。
- 特徴(とくちょう):体が青く、背中が黒いイトトンボです。イトトンボの仲間はオスとメスで色がちがう種が多いですが、クロイトトンボはあまりちがいがありません。
- 生息場所(せいそくばしょ):主に池や水路にすみます。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。出雲市では、ため池でよくみられるトンボの一つです。

キイトトンボ



- 分類(ぶんるい):トンボ目イトトンボ科
- 学名(がくめい):*Ceriagrion melanurum*
- 大きさ:体の長さは4cmほど。
- 特徴(とくちょう):体が黄色いイトトンボ。ほかにこのような色のイトトンボがないため、見分けるのはかんたんです。
- 生息場所(せいそくばしょ):主にため池や湿地にすんでいます。流れのある川にはいません。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。出雲市でもため池で見られます。

コシアキトンボ



- 分類(ぶんるい):トンボ目トンボ科
- 学名(がくめい):*Pseudothemis zonata*
- 大きさ:体の長さは5cmほど。
- 特徴(とくちょう):全体に黒い色をしています。腹部(ふくぶ)の根元が黄色や白い色をしています。この色によって、ほかのトンボとはかんたんに区別できます。
- 生息場所(せいそくばしょ):主にため池や水路などにすみます。流れのある川にはいません。
- 分布(ぶんぷ):日本とその周辺の国に広くすんでいます。出雲市でもため池や水路などで見られます。